

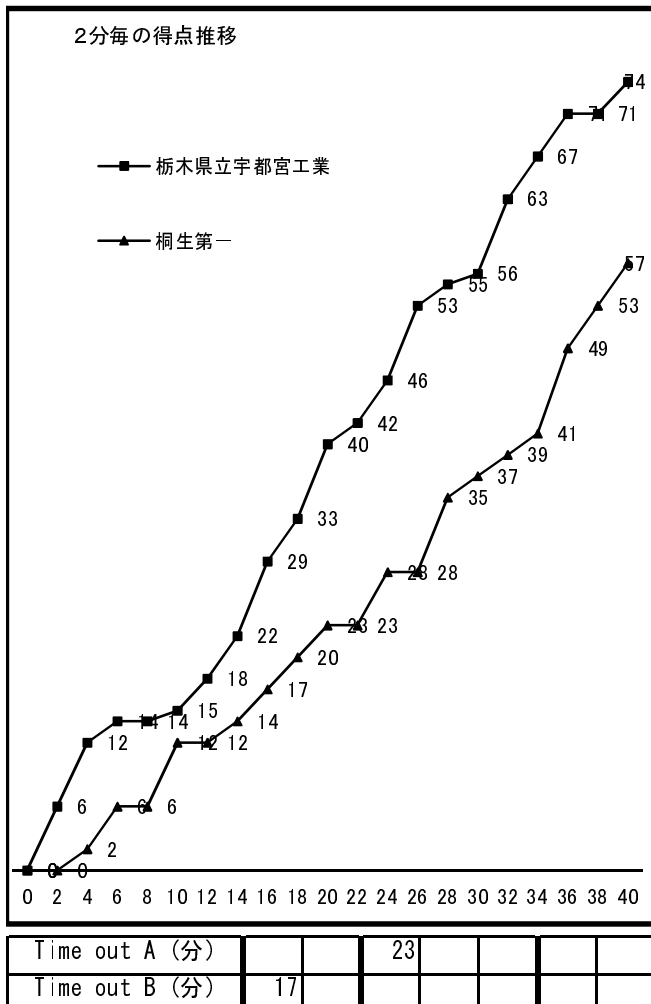
平成26年度 第25回 関東高等学校バスケットボール新人大会

男子回戦		平成27年2月7日(土)		ALSOKぐんまアリーナ		大会1日目		Aコート		第5試合 15:30~																		
〈Aチーム〉			<table style="margin: auto;"> <tr> <td rowspan="5" style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">74</td> <td rowspan="5" style="font-size: 4em; vertical-align: middle;">}</td> <td>15</td><td>-</td><td>12</td> </tr> <tr> <td>25</td><td>-</td><td>11</td> </tr> <tr> <td>16</td><td>-</td><td>14</td> </tr> <tr> <td>18</td><td>-</td><td>20</td> </tr> <tr> <td>-</td><td>-</td><td>-</td> </tr> </table>						74	}	15	-	12	25	-	11	16	-	14	18	-	20	-	-	-	〈Bチーム〉		
74	}	15	-	12																								
		25	-	11																								
		16	-	14																								
		18	-	20																								
		-	-	-																								
栃木県立宇都宮工業 (栃木)			57						桐生第一 (群馬)																			
主審		丸山 淳		副審		中島 弘幸																						

S	NO	氏名	得点	3P	2P	FT	Foul
○	4	稲葉 康平					
◎	5	鈴木 翔太	17		8	1	
◎	6	小林 大地	3	1			
◎	7	ロンゴ・ウバ・タニエル	21		10	1	1
◎	8	深田 匠満	14	1	2	7	2
	9	残間 巧人					
◎	10	玉田 有輝	6		3		1
	11	川崎 良					
	12	阿部 夏也					
	13	瀬戸下 竜也					
	14	宮崎 和樹					
	15	北条 大樹					
○	16	渡辺 翔太	13	2	3	1	1
○	17	安納 駿					
	18	藤井 時生					
コーチ			千村 隆				
			74	4	26	10	5

S	NO	氏名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	山田 光成	9	1	3		2
◎	5	矢内 翔	8	1	2	1	1
○	6	木村 一馬	2		1		
◎	7	田中 佑哉	19	5	2		3
○	8	池田 隼人					
○	9	伊東 凌弥					3
○	10	星野 敦乙					
○	11	安達 祐馬	2		1		
◎	12	野口 啓太	10		5		3
◎	13	伊藤 蓮					4
○	14	長野 真人	3	1			
○	15	堀 大輔					3
○	16	小川 礼慈	2		1		
○	17	長田 拓己					2
○	18	堤 一貴	2		1		
コーチ			蛭間 貞夫				
			57	8	16	1	21

◎:スターター ○:出場 3P:3点シュート(本数) 2P:2点シュート(本数) FT:フリースロー(本数) Foul:パーソナルファウル



戦評 | 記入者: 赤石 和子

宇都宮工業はハーフコートマンツーマン、対する桐生第一はオールコートマンツーマンでスタート。宇都宮工業#7ロンゴの高さのあるディフェンスから#5鈴木が中心となり得点を重ねる。対する桐生第一は、#5矢内を中心に攻めるもシュートが入らず苦しいスタートとなるも、終盤激しいディフェンスから速攻が決まり、宇都宮工業3点リードで第1P終了。

第2P、宇都宮工業は1-2-1-1ゾーンプレスとディフェンスを変え、#5鈴木と#16渡辺が流れを作り、#7ロンゴがインサイドの強さをみせ得点を重ねる。対する桐生第一は、激しいディフェンスから速攻を繰り返すもミスが続き得点ができない。#5矢内の負傷交代もあり流れに乗れないまま、宇都宮工業17点リードで前半終了。

後半、桐生第一は#7田中の3Pシュートなどで攻めるもリズムが掴めない。対する宇都宮工業は2-2-1ゾーンプレスでプレッシャーをかけ流れを渡さない。勢いの止まらない宇都宮工業は#5鈴木、#16渡辺がゲームを作り、第4P序盤で24点差をつける。試合終盤、桐生第一も#7田中を中心に粘りを見せるも及ばず74-57で宇都宮工業の勝利。攻守のバランスを見せた宇都宮工業が準決勝へと駒を進めた。